

N.N. 2018年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

【実習について】

私は、小倉活性化プロジェクトに所属していました。最初はWEB媒体の運営を行い、小倉に住み、まちづくりに貢献されている方をインタビューし記事を作成し、小倉のまちの魅力発信を行いました。グリーンバード小倉チームの活動や、まちなかコンシェルジュ活動など「小倉のまちに対するネガティブな印象をポジティブに」というコンセプトのもとに、様々な活動を経験しました。

【実習外での活動について】

実習外の活動では、2つの団体に所属していました。

1つ目は、idea+という学生団体です。私が3年時に実習化しましたが、当時は「小倉の街をキャンパスに生涯教育を目的としたワークショップを企画するコーディネーター」として数多くの講座を企画し、ファシリテーションを行う活動を行なって追いました。時には講師を招き、時には参加者全員で探求し学びを深める講座を企画。自分の想いや、参加者にどんな学びを持って帰ってもらいたいかなまで、メンバーや先生と壁打ちしながら企画を進めて行きました。idea+の2代目リーダーとして、組織運営の経験も得ることができました。

2つ目は、ヤングアメリカンズというアメリカの表現教育ワークショップを行う団体の学生ボランティア、ボランティア母体の運営に携わっていました。この活動をきっかけに、教育の分野に興味を持ち、リアル就職プログラムを利用して、日本での活動を誘致しているNPO法人にインターンへ参加。東北の小・中学校を無償でまわるワークショップに約半年間帯同しました。インターンとしての仕事内容は、キャスト約30名の食事管理・健康管理、学生ボランティアの取りまとめやシフト作成などを担当していました。



講座では、自分自身がファシリテーターとなり、運営を行います。参加者に持って帰って欲しい学びを提供できるよう、1から企画を作る楽しさを学ぶことができました。また、この活動をきっかけに、様々な講師にも登壇いただくことができ、人脈も広げることができました。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

大学卒業後、私は小学校教員という最初のキャリアを選択しました。この決断は、実習外活動で携わったヤングアメリカンズを通し、表現教育の重要性を実感したことがきっかけです。地域創生学群は教員免許を取得できませんでしたが、認定NPO法人 Teach For JAPANのフェローとして採用いただき、小学校へ赴任。中学年（3・4年生）の担任を務めました。全教科を担当するため、当初は毎日、各教科の準備や他の先生方からの指導を仰ぐなど、必死に知識と経験を積み重ねる日々でした。特に3年目には、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急休校を経験しましたが、オンライン授業実施のための設備整備やノウハウの伝達に奔走するなど、「自分にできることはなんでもやる」という精神で取り組み、大きな充実感を得ることができました。

3年間の教員経験を通じて、自分自身の力不足による影響力のなさを痛感する場面が多くありました。そこで、よりビジネスパーソンとしてのスキルを磨き、影響力を高められる環境に身を置きたいと考え、転職を決意しました。現在は、株式会社リクルート（現在は株式会社インディードリクルートパートナーズへ転籍）にて、キャリアアドバイザー職に配属されています。主に製造領域で活躍されている方々のキャリア支援や、日本を代表する「ものづくり企業」の採用支援に携わっています。日本の屋台骨となる重要な領域で、スケールの大きい仕事に挑戦できることに大きなやりがいを感じています。



毎日数字を追う日々。その中でも「自分自身はどうしたいのか」を常に問われる環境のため、成長実感を感じています。全国各地に仲間ができ、日々刺激を受けています。

現役生へのメッセージ

全国どこを探してもこんなに挑戦することを応援してくれる環境は他にはないと思います。思う存分、やりたいうちにどんどん挑戦して欲しいです。結果それがどうなるかと、きっと自分の糧となり、大きな武器になってくれます。ただ、大学が用意してくれる学びはあくまで定量は決まっています。自分の限界を決めず、ぜひ大学の外へも目を向けて様々な機会を体験して欲しいです。やるか、超やるか！応援しています。

(2025年11月14日執筆)